

VI. 開発専門家等の育成 (アジア経済研究所開発スクール)

理論と実務能力を兼ね備えた開発専門家の育成を目指して、1990年10月、アジア経済研究所開発スクール（IDEAS）を開校した。開校初年度は、日本人研修生課程（スクール研修1年、修了後成績優秀者は海外派遣1年）のみであったが、開発途上国の開発行政官の養成が急務であるとの内外の要請に鑑み、1991年度から、アジア開発途上国の開発行政官を対象とした外国人研修生課程（スクール研修6カ月）を開設した。

開発スクールの研修生受け入れ数は、2012年3月末現在、日本人研修生は第22期まで244名、外国人研修生は第21期まで19カ国305名で、総数549名となっている。

開発スクールを修了した日本人研修生課程の1期から21期までの卒業生は、世界銀行、米州開発銀行、アジア開発銀行、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国連世界食糧機関（WFP）等の国際開発援助機関、およびわが国の経済協力関係機関などに就職し、活躍している。また、6カ月研修を終えた21期までの外国人研修生は、帰国後、開発スクールでの研修で習得した知識を活用し、各国政府関係機関における開発行政官等として経済、社会開発の分野で貢献している。（表VI-1～4参照）

2011年度は、第20期日本人研修生の海外留学の修了・就職支援、第21期日本人研修生の後期課程および海外留学・就職支援、第22期日本人研修生の受け入れ・前期課程、第21期外国人研修生の受け入れ・研修を実施した。

（1）第20期日本人研修生に対する就職支援

留学から帰国した第20期日本人研修生に対し、情報提供、個別相談対応など、就職活動の支援を行った。研修生は、国際協力機構、Acumen Fund、アイ・シー・ネット(株)、ワールド・ビジョン・ジャパン等に就職した。（表VI-4）

（2）第21期日本人研修生後期授業、海外留学・就職

① 後期講義

2011年4月から7月までの間に、合計90コマ（1コマ90分）の授業を行なった。（表VI-5）

② 海外留学・就職

第21期生の海外留学は、英国へ6名（ロンドン大学など）、オランダへ2名（エラスムス大学）、米国へ1名（カリフォルニア大学）となっている。（表VI-3）

また留学以外では、外務省、環境省等に就職した。（表VI-4）

（3）第22期日本人研修生の募集、前期授業

① 募集・選考

応募期間を2011年5月9日から5月27日までとし、筆記試験を6月11日、面接試験を6月23日、24日に実施した。選考の結果、願書提出者23名の中から10名を選抜した。

② 前期講義

2011年9月から2012年2月末までの間に、合計225コマの授業を行なった。経済学・数学、開発論などの授業に加え、集中講義2回を含む6コース（計93コマ）において外国人研修生と合同授業を行い、試験、レポート提出などによる成績評価を行なった。（表VI-6参照）

③ 国内視察

第21期外国人研修生と合同で地方2回、近郊1回の視察を実施した。

（４）第21期外国人研修生の募集、研修

① 募集

第21期外国人研修生として、下記のとおり11カ国の政府関係機関から合計11名の行政官を招聘した。

○開発スクール招へい外国人研修生（11名）

ブータン（財務省）、カンボジア（カンボジア開発評議会）、インドネシア（商業省）、ラオス（ラオス銀行）、モンゴル（大蔵省）、ミャンマー（財政歳入省）、ネパール（総務省）、パキスタン（計画委員会）、スリランカ（税務局）、タイ（投資委員会）、ウズベキスタン（ウズベキスタン繊維公社）

② 講義

2011年11月から2012年3月までの5カ月間に、計156コマの授業を行なった。このうち日本人研修生との合同授業である集中講義2回を含む6コース（計93コマ）については、レポート提出などによる成績評価を行なった。（表VI-7参照）

③ 国内視察及び国際交流活動

外国人研修生のわが国の社会や産業の理解を目的として、国内視察を3回（地方2回、近郊1回）実施した。（表VI-8、9）また、千葉県との共催事業として千葉県内高校における各国事情に関する講義（4校）を実施するとともに、(財)ちば国際コンベンションビューロー協力の下に県内のボランティア家庭（11世帯）でのホームステイを行なった。（表VI-10）

（５）海外調査の実施

本年度外国人研修生受け入れに関し、ウズベキスタン、カンボジア、パキスタン、ラオス、スリランカ、ネパールの現地関係機関において、ヒヤリングや応募者との面接を実施した。

（６）開発スクール研修生審議委員会の活動

日本人及び外国人研修生の選考及び第21期日本人研修生の修了認定等の審議に加え、IDEAS事業の現況について意見交換を行った。

（７）アイデア実践講座「よくわかる経済開発・社会開発」の実施

アイデアにおいて実施している開発論講義のエッセンスを広く一般にも提供することおよび研修生募集を見据えた事業広報を目的とし、次のとおり「アイデア実践講座」を実施した。

日 時：2011年4月16日（土）、17日（日）

場 所：国際協力機構東京国際センター

内 容；

コース 1：「国際開発のためのデータ分析入門」

講 師：山形辰史（開発研究センター次長、IDEAS 教授）

聴講者：85 名

コース 2：「開発経済学入門」

講 師：野上裕生（開発研究センター主任調査研究員、IDEAS 教授）

聴講者：87 名

コース 3：「社会開発入門」

講 師：坂田正三（地域研究センター主任調査研究員、IDEAS 教授）、
佐藤寛（国際交流・研修室長、IDEAS 教授）

聴講者：76 名

総合討論：「開発問題の行方」

講 師：山形辰史、野上裕生、坂田正三、佐藤寛

聴講者：63 名

（8）「国際協力キャリアフェア 2011」への参加

アイデアス模擬講義を実施するとともに、ブース出展によるキャリア相談を次のとおり実施した。

日 時：2011 年 11 月 23 日（水・祝） 10:00～17:00

場 所：東京ファッションタウンビル（東京ビッグサイト）

【模擬講義】

テーマ：「開発スクール紹介・開発専門家になるには」

講 師：山形辰史（開発研究センター次長、IDEAS 教授）

テーマ：「開発学入門」

講 師：佐藤寛（国際交流・研修室長、IDEAS 教授）

聴講者：36 名

【ブース出展】

訪問者：約 46 名

（9）アイデアス開発問題セミナーの実施

経済協力、開発援助の現場で活躍する日本人修了生を講師に迎えて実施している「アイデアス開発問題セミナー」を世界銀行と共催で次のとおり実施した。

【第 1 回】

日 時：2011 年 7 月 8 日（金） 18:30～20:00

テーマ：「Clean Development Mechanism による途上国での温室効果ガス排出削減
プロジェクトとその課題」

講 師：中村浩美（IDEAS 14 期生）

三井物産㈱ エネルギー第二本部環境事業部
排出権プロジェクト室 マネージャー

聴講者：16名

【第2回】

日時：2011年3月7日(水)18:30～20:00

テーマ：「農村開発、貧困削減の課題」

講師：高田美穂氏 (IDEAS 8期生)

世界銀行 南アジア局 農村開発スペシャリスト

聴講者：41名

【第3回】

日時：2012年3月23日(水)18:30～20:00

テーマ：「日本における人身取引の実態、取組み、課題」

講師：須藤詠子 (IDEAS14期生)

国際移住機関 (IOM) 駐日事務所 人身取引対策コーディネーター

聴講者：35名

(10) 第15回フォローアップ研修の実施

2009年度以降中止していた、外国人修了生向け短期研修プログラムを実施した。

テーマとして「グローバリゼーションと人間の安全保障」を掲げ、9カ国（ブータン、カンボジア、モンゴル、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム）から11名の修了生が参加した。

日時：2012年3月21日(水)～24日(土)

プログラム；

①セミナー

基調講演「災害復興と国際協力」

豊田利久（広島修道大学大学院経済科学研究科長）

「防災インフラとソーシャルキャピタル」

池田龍彦（横浜国立大学大学院国際社会科学研究所教授）

②国別報告（9カ国）

③スタディーツアー

岩手県田野畑村、普代村にて東日本大震災時の対応や復興の現状についてヒアリング、防災施設の見学など

(11) 修了生へのニューズレター配信、データベースの整備

修了生のネットワーク構築のため、日本人・外国人修了生の全員に対し、ニューズレターを発信し、同時に現況確認、データベースを整備した。

表VI-1 研修生受入実績

日本人研修生	受入人数	外国人研修生	受入人数
第1期 (1990/10～91/9)	13	第1期 (1991/10～92/3)	8
第2期 (1991/10～92/9)	12	第2期 (1992/10～93/3)	11
第3期 (1992/10～93/9)	11	第3期 (1993/10～94/3)	13
第4期 (1993/10～94/9)	11	第4期 (1994/10～95/3)	15
第5期 (1994/10～95/9)	11	第5期 (1995/10～96/3)	15
第6期 (1995/10～96/9)	11	第6期 (1996/10～97/3)	17
第7期 (1996/10～97/9)	11	第7期 (1997/10～98/3)	15
第8期 (1997/10～98/9)	11	第8期 (1998/10～99/3)	15
第9期 (1998/10～99/9)	11	第9期 (1999/10～2000/3)	15
第10期 (1999/10～2000/9)	11	第10期 (2000/10～2001/3)	13
第11期 (2000/9～2001/7)	11	第11期 (2001/10～2002/3)	15
第12期 (2001/9～2002/7)	9	第12期 (2002/10～2003/3)	15
第13期 (2002/9～2003/7)	10	第13期 (2003/10～2004/3)	15
第14期 (2003/9～2004/7)	11	第14期 (2004/10～2005/3)	16
第15期 (2004/9～2005/7)	12	第15期 (2005/10～2006/3)	15
第16期 (2005/9～2006/7)	10	第16期 (2006/10～2007/3)	14
第17期 (2006/9～2007/7)	11	第17期 (2007/10～2008/3)	21
第18期 (2007/9～2008/7)	11	第18期 (2008/10～2009/3)	15
第19期 (2008/9～2009/7)	9	第19期 (2009/10～2010/3)	17
第20期 (2009/9～2010/7)	13	第20期 (2010/10～2011/3)	14
第21期 (2010/9～2011/7)	14	第21期 (2011/10～2012/3)	11
第22期 (2011/9～2012/7)	10		
計	244		305

表VI-2 外国人研修生受入実績 (1～21期)

国	受入人数
バングラデシュ	19
ブータン	9
カンボジア	17
中国	23
インド	12
インドネシア	22
ラオス	16
マレーシア	6
モンゴル	18
ミャンマー	22
ネパール	22
パキスタン	15
フィリピン	26
スリランカ	17
タイ	33
東ティモール	1
ウズベキスタン	7
ベトナム	19
ブルネイ	1
計	305

表VI-3 日本人研修生海外留学先実績

第20期生		人数	第21期生		人数	
英国	ロンドン大学 (UCL)	1	英国	オックスフォード大学	1	
	ロンドン大学 (SOAS)	1		マンチェスター大学	2	
	ロンドン大学 (LSE)	1		ロンドン大学 (LSE)	1	
	イーストアングリア大学	1		サセックス大学	1	
			オランダ	ウォーリック大学	1	
				エラスムス大学	2	
米国	コロンビア大学	1	米国	カリフォルニア大学	1	
	デューク大学	2				
	コーネル大学	1				
シンガポール	シンガポール大学	1				
フィリピン・ コスタリカ	国連平和大学	1				

表VI-4 日本人研修生就職先 [第1期～第21期/2012年3月現在]

	人数	主な機関
国際機関	29	世界銀行グループ、国連開発計画 (UNDP)、国連世界食糧計画 (WFP)、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、アジア開発銀行 (ADB)、米州開発銀行 (IDB) 等
国内公的機関	52	国際協力機構 (JICA)、外務省 (在外公館含む)、環境省、日本貿易保険、日本貿易振興機構アジア経済研究所等
コンサルティング会社等	33	アイ・シー・ネット、コーエイ総合研究所、グローバルリンクマネージメント、国際開発センター (IDCJ) 等
NGO 等	15	海外農業開発協会、日本紛争予防センター、家族計画国際協力財団 (JOICEP)、セーブザチルドレン等
大学教員・研究員	15	東京大学、千葉大学、大阪市立大学、慶応大学、早稲田大学、University of Rhode Island (米国) 等
企業等からの派遣	17	会計検査院等
その他の就職先	35	(民間企業、大学院在学中等)

表VI-5 第21期日本人研修生課程後期講義実績(2011年3月-7月)

科目	教授	所属	コマ数
日本人研修生のための履修科目			
集中講義			10
-Service Operations	Joel Rosch	Senior Research Scholar, Center for Child and Family Policy, Duke University	10
開発論			16
-社会開発論 (ジェンダー)	村山 真弓	新領域研究センター次長	1
-障害と開発	森 壮也	開発研究センター貧困削減・社会開発研究グループ研究グループ長代理	4
-開発途上国の環境問題 (環境と貿易)	小島 道一	新領域研究センター環境・資源研究グループ長	1
	寺尾 忠能	新領域研究センター環境・資源研究グループ主任研究員	2
	大塚 健司	新領域研究センター環境・資源研究グループ長代理	2
	道田 悦代	新領域研究センター環境・資源研究グループ	1
-開発途上国の人口問題	高橋 秀行	家族計画国際協力財団 (JOICFP) 理事・事務局長補	2
-プログラム評価セミナー	伊藤 成朗	開発研究センターマイクロ経済分析研究グループ長	3
地域研究			22
-東アジア (韓国) (台湾) (中国)	奥田 聡	地域研究センター動向分析研究グループ長	1
	池上 寛	新領域研究センター企業・産業研究グループ	1
	渡邊 真理子	地域研究センター東アジア研究グループ長	1
-東南アジア (CLMV 関連) (ベトナム) (ラオス) (東南アジアの政治) (マレーシア)	工藤 年博	地域研究センター東南アジア II 研究グループ長	1
	藤田 麻衣	地域研究センター東南アジア II 研究グループ長代理	1
	ケオラ スックニラン	新領域研究センター経済統合研究グループ	1
	川中 豪	地域研究センター主任調査研究員	1
	熊谷 聡	新領域研究センター経済統合研究グループ長	1
-南アジア (インド) (パキスタン)	近藤 則夫	地域研究センター南アジア研究グループ長	1
	中西 嘉宏	地域研究センター東南アジア II 研究グループ	1
-中東 (トルコ) (中東諸国の経済)	間 寧	地域研究センター中東研究グループ長	1
	土屋 一樹	地域研究センター中東研究グループ	1
-ラテンアメリカ (総論・政治経済・社会政策) (教育)	宇佐見 耕一	地域研究センターラテンアメリカ研究グループ長	3
	米村 明夫	地域研究センターラテンアメリカ研究グループ主任研究員	1
-アフリカ	平野 克己	地域研究センター長	3
	佐藤 章	地域研究センターアフリカ研究グループ長代理	3

ゼミナール（選択必修）			15
-社会開発（論文指導）	坂田 正三	地域研究センター主任調査研究員	15
	牧野 久美子	地域研究センターアフリカ研究グループ	
	村山 真弓	新領域研究センター次長	
	吉田 栄一	横浜市立大学国際総合科学部准教授	
-経済開発（論文指導）	山形 辰史	開発研究センター次長	13
	野上 裕生	開発研究センター主任調査研究員	
	藤田 麻衣	地域研究センター東南アジアⅡ研究グループ 長代理	
英語			15
-English Academic Writing	Paul Consalvi	日米会話学院講師	15
その他			12
-PCM 研修		アイ・シー・ネット株式会社人材開発室	12
合計コマ数			90

表VI-6 第22期日本人研修生課程前期講義実績(2011年9月-2012年2月)

科目	教授	所属	コマ数
日本人・外国人研修生共通履修科目			93
国際貿易・投資・金融			20
-貿易投資の理論とアジア太平洋経済	石戸 光	千葉大学法経学部総合政策学科准教授	6
-インフラストラクチャーの開発とファイナンス	小山 昌久	立命館大学国際関係学部教授	8
-アジア地域統合の政治経済学	寺田 貴	早稲田大学アジア研究機構アジア研究所教授	6
地域の開発経験・日本の開発経験			16
-農業発展論	藤本 彰三	東京農業大学国際食料情報学部教授	10
-産業政策と中小企業	三井 逸友	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授	4
-社会開発/貧困の克服	佐藤 寛	国際交流・研修室長	2
開発の諸問題			23
-プロジェクト評価論	栗木 レタンギエ ップ	城西国際大学国際人文学部教授	4
-産業連関分析入門	猪俣 哲史	開発研究センター国際産業連関分析研究グループ長	3
-開発と教育	黒田 一雄	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授	8
-危機に立つ人間環境と食糧安全保障	田坂 興亜	アジア学院理事	2
-日本の環境政策	小島 道一	新領域研究センター環境・資源研究グループ長	1
	ヴェラ アティエンザ	新領域研究センター環境・資源研究グループ	1
-社会的平等と経済成長	平島 成望	明治学院大学名誉教授	4
国際協力			8
-開発協力の理念と方法論の動向 -財政支援、公共財政管理	林 薫	文教大学国際学部教授	6
-開発と法	山田 美和	新領域研究センター法・制度研究グループ長	2
集中講義			20
-Trade and Development	Shigehisa Kasahara	Economic Affairs Officer Division for Africa, Least Developed Countries and Special Programmes (ALDC) United Nations Conference on Trade and Development(UNIDO)	10
-Global Value Chains: Structure, Governance and Policy	John Humphrey	Professional Fellow at Institute of Development Studies, University of Sussex	10

特別講義			6
1) Growing public?: Explaining the changing economic role of the state in Asia over the 20th century 2) Accumulation development and exploitation in different colonial and post-colonial contexts: Taiwan, Indonesia and the Democratic Republic of the Congo, 1900-1980	Anne E. Booth	Professor of Department of Economics & The School of Oriental and African Studies (SOAS) University of London	2
-Human Trafficking in the Great Mekong Sub-region: Policies and Challenges	Matthew Friedman	Regional Project Manager of United Nations Inter-Agency Project on Human Trafficking (UNIAP)	1
-ジェトロの調査事業	秋山 士郎	海外調査部調査企画課	1
-Cultural Incomprehension: Relation between Islam and Christianity	Ali W. Ferdowsi	Professor of Department of History & Political Science, Notre Dame de Namur University	1
-Global Food Security: Where Next?	Lawrence Haddad	Director of the Institute of Development Studies, University of Sussex	1
日本人研修生のための履修科目			132
開発論			28
-社会開発論 (概論)	坂田 正三	地域研究センター主任調査研究員	1
(環境と社会開発)			1
(フェアトレード)	佐藤 寛	国際交流・研修室長	1
(BOP)			1
(ビジネスと開発)			2
(農村開発とサステナブルライフリフツ)	草苺 康子	国連大学アフリカ自然資源研究所研究員	1
(水)	杉田 映理	東洋大学国際地域学部国際地域学科准教授	1
(農村開発と住民組織化)	池野 雅文	株式会社コーエイ総合研究所課長・主任研究員	1
(エイズ)	牧野 久美子	地域研究センターアフリカ研究グループ	1
(マイクロ・ファイナンス)	吉田 秀美	法政大学大学院環境マネジメント研究科准教授	1
(ファシリテーターの役割)	太田 美帆	玉川大学文学部比較文化学科助教	1
(教育開発と世界銀行の役割)	結城 貴子	国際協力機構 JICA 研究所研究員	1
(途上国の住宅問題)	近田 亮平	地域研究センター ラテンアメリカ研究グループ	1
(日本の NGO)	伊藤 道雄	立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科特任教授/特定非営利活動法人 アジア・コミュニティ・センター21 代表理事	2
-経済開発論	町北 朋洋	新領域研究センター経済統合研究グループ	12

経済学・数学			55
-ミクロ経済学	山形 辰史	開発研究センター次長	21
-マクロ経済学	野上 裕生	開発研究センター主任調査研究員	8
-数学 (指数・対数)	桑森 啓	開発研究センター国際産業連関分析研究グループ長代理	6
(微分・最適化)	田中 清泰	新領域研究センター技術革新・成長研究グループ	6
-統計学	植村 仁一	開発研究センター経済社会展望研究グループ長	14
ゼミナール			12
-ゼミナール	佐藤、山形、坂田、野上、藤田、村山、牧野	アジア経済研究所	12
英語			35
-English Academic Writing	Paul Consalvi	日米会話学院講師	15
-TOEFL 対策 (選択)		日米英語学院講師	10
-IELTS 対策 (選択)		ブリティッシュ・カウンシル講師	10
特別講義			2
-生産工程のフラグメンテーションを背景とした貿易額の計測と、ミクロ・データを用いた国際価値連鎖の分析について	Sebastien Miroudot	Trade Policy Analyst, Trade in Services Division, Trade and Agriculture Directorate, Organisation for Economic Cooperation and Development (OECD), Paris, France	2
合計コマ (*選択科目含む)			225

表VI-7 第21期外国人研修生課程講義実績(2011年11月-2012年3月)

科目	教授	所属	コマ数
日本人・外国人研修生共通履修科目			93
国際貿易・投資・金融			20
-貿易投資の理論とアジア太平洋経済	石戸 光	千葉大学法経学部総合政策学科准教授	6
-インフラストラクチャーの開発とファイナンス	小山 昌久	立命館大学国際関係学部教授	8
-アジア地域統合の政治経済学	寺田 貴	早稲田大学 アジア研究機構アジア研究所教授	6
地域の開発経験・日本の開発経験			16
-農業発展論	藤本 彰三	東京農業大学国際食料情報学部教授	10
-産業政策と中小企業	三井 逸友	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授	4
-社会開発/貧困の克服	佐藤 寛	国際交流・研修室長	2
開発の諸問題			23
-プロジェクト評価論	栗木 レタンギエツブ	城西国際大学国際人文学部教授	4
-産業連関分析入門	猪俣 哲史	開発研究センター国際産業連関分析研究グループ長	3
-開発と教育	黒田 一雄	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授	8
-危機に立つ人間環境と食糧安全保障	田坂 興亜	アジア学院理事	2
-日本の環境政策	小島 道一	新領域研究センター環境・資源研究グループ長	1
	ヴェラ アティエンザ	新領域研究センター環境・資源研究グループ	1
-社会的平等と経済成長	平島 成望	明治学院大学名誉教授	4
国際協力			8
-開発協力の理念と方法論の動向 -財政支援、公共財政管理	林 薫	文教大学国際学部教授	6
-開発と法	山田 美和	開発研究センター法・制度研究グループ	2
集中講義			20
-Trade and Development	Shigehisa Kasahara	Economic Affairs Officer Division for Africa, Least Developed Countries and Special Programmes (ALDC) United Nations Conference on Trade and Development	10
-Global Value Chains: Structure, Governance and Policy	John Humphrey	Professional Fellow at Institute of Development Studies, University of Sussex	10
特別講義			6
1) Growing public?: Explaining the changing economic role of the state in Asia over the 20th century	Anne E. Booth	Professor of Department of Economics & The School of Oriental and African Studies (SOAS) University of London	2

2) Accumulation development and exploitation in different colonial and post-colonial contexts: Taiwan, Indonesia and the Democratic Republic of the Congo, 1900-1980			
-Human Trafficking in the Great Mekong Sub-region: Policies and Challenges	Matthew Friedman	Regional Project Manager of United Nations Inter-Agency Project on Human Trafficking (UNIAP)	1
-ジェトロの途上国貿易開発支援	石井 茂	途上国貿易開発部長	1
-Cultural Incomprehension: Relation between Islam and Christianity	Ali W. Ferdowsi	Professor of Department of History & Political Science, Notre Dame de Namur University	1
-Global Food Security: Where Next?	Lawrence Haddad	Director of the Institute of Development Studies, Sussex	1
外国人研修生履修科目			63
貿易・投資・金融			6
-日本企業の海外投資案件ケーススタディを通じた国際貿易等	辻 哲彦	元住友商事部長（化学品部門）	6
日本の産業と企業			13
-日本の経済発展：特徴と課題	竹内 常善	浙江大学経済学院客員教授	8
-日本の経営	宮島 英昭	早稲田大学商学大学院教授	2
-財政の経済理論と実際	佐藤 主光	一橋大学大学院経済学研究科教授	3
開発途上国の産業発展			5
-企業の戦略：生産・マーケティング・革新	佐藤 百合	地域研究センター次長	1
	山形 辰史	開発研究センター次長	1
	川上 桃子	新領域研究センター産業・技術研究グループ長代理	1
	藤田 麻衣	地域研究センター東南アジアⅡ研究グループ長代理	1
	福西 隆弘	地域研究センターアフリカ研究グループ	1
日本の国際協力			2
-JICA 事業概要	森 裕之	国際協力機構(JICA)スーダン事務所長	2
ゼミナール			23
-ゼミナール（開発経済学）	山本 一巳	前・愛知大学現代中国学部教授	10
-開発を学ぶための基礎経済学	山形 辰史	開発研究センター次長	13
	久保 公二	開発研究センター経済社会展望研究グループ	
その他			14
-汚職（政治的腐敗と透明性）	大内 穂	トランスペアレンシー・ジャパン理事	2
-日本語		公益社団法人国際日本語普及協会	12
合計コマ			156

表VI-8 国内研修旅行

	訪問先	日程
新潟県上越市	㈱じょうえつ東京農大、上越市役所、JA えちご上越、久保田農場他	2012/2/15-17
愛知県名古屋、豊田市	トヨタ自動車(株)元町工場、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館、リニア鉄道博物館他	2012/2/29-3/1

表VI-9 近郊訪問

訪問先	訪問日
海ほたる、大黒ふ頭、(社)横浜みなとみらい 21 他	2011/11/21

表VI-10 外国人研修生による国際交流

1. 千葉県内高校での訪問授業等（千葉県庁共催）

訪問先	訪問日
千葉県立薬園台高等学校	2011/12/6
私立市原中央高等学校	2011/12/6
千葉県立松戸国際高等学校	2012/1/24
習志野市立習志野高等学校	2012/1/24

2. ホームステイ

訪問先	訪問日
千葉県内ホストファミリー（11 世帯）	2011/12/3-4, 12/10-11